

# 日本のパリ協定推進と「エネルギー基本計画」見直しに関する 質問書

環境大臣 中川雅治 様

2018年1月17日

地球救出アクション 97

連絡: 580-0003 大阪府松原市一津屋 4-9-6 Tel.072-336-7201

昨年にはパリ協定が発効し、世界は温暖化防止・2°C未満、21世紀の早い時期にCO2排出実質ゼロをめざして大きく踏み出しました。この時期に、昨年8月から「エネルギー基本計画」の見直しが始められています。これは、今後3年間の日本のエネルギー政策を決めるだけでなく、2030年、2050年までの温暖化防止対策を方向づけるものでもあります。

中央環境審議会地球環境部会は昨年3月、「低炭素ビジョン」報告書を出し、その後、環境省では「カーボン・プライシング」の研究会を行っています。「エネルギー基本計画」見直しは経産省の下で行われていますが、わが国をパリ協定推進の国にするには、環境省も見直しに関与しなければならないと考えます。

環境省が役割を果たすことを期待し、質問します。

[脱石炭、再エネ大幅導入を可能にする「エネルギー基本計画」へ]

1、石炭火力と原発をベースロード電源と位置付けた場合、再エネ大幅導入は可能と考えていますか。

エネルギー基本計画見直しの審議会冒頭、世耕経産大臣は現行「エネルギー基本計画」を大きく変えない旨発言しました。現行「エネルギー基本計画」を踏襲すると、再エネ導入を阻んでいるベースロード電源(石炭、原発の合計で電源の約50%)を推進することとなり、再エネ100%を早期にめざす世界の流れと大きくかけ離れたものになります。環境省は「低炭素ビジョン」実現の立場から、ベースロード電源という枠組みをどのように考えていますか。

2、現実に、わが国で現在、石炭火力が増加し、CO2削減を阻んでいます。さらに、計画中のものがすべて建設・稼働されれば、2030年までの約束(2013年比26%の温室効果ガス排出削減)さえも実行できません。石炭火力の経済性も既に世界では失われています。石炭火力発電の新増設ストップが今必要な温暖化防止政策ではないでしょうか。

環境省はどのように行動しますか。

3、電源の再エネ100%への道筋を環境省はどのように考えているのか、示してください。

[原発再稼働中止、早期原発ゼロを求めます]

4、「低炭素ビジョン」には、2050年の姿として、「エネルギー供給の9割以上が低炭素電源(再生可能エネルギー、CCS付火力発電、原子力発電)」とされています。

この質問書ですでにベースロード電源、そのものが再エネ導入を阻むことを議論しましたが、原発については別の重大な環境問題があります。原発自体が地球温暖化に匹敵する地球環境破壊の原因となることが考慮されなければなりません。環境省は福島原発事故について、除染や廃棄物処分の困難さをよく知っているはずですが、福島原発事故をどのように反省していますか。

二度と事故を越さないためには原発を止めるべきではありませんか。

放射能による地球環境汚染を防止するためにも原発は早期にゼロにすべきではありませんか。

[炭素税など炭素の価格付け政策の実施を求めます]

5、カーボン・プライシングのうち、現在導入を検討している政策を教えてください。また、政策導入の道筋を示してください。また、この政策がパリ協定の推進にとってどれほど重要か、示してください。

[対話について]

6、低炭素ビジョンは日本の経済政策としても、少子高齢化対策としても重要です。環境省は経済産業省を説得すべきではありませんか。

7、低炭素ビジョンについては、全ての人々、市民・自治体・企業が参加し、すべてが主体的に行動することなしに実現しないと考えられます。環境省は全国各地に出かけ、多くの人々と意見交換し、その中からビジョンの詳細を作り上げ、政策とし、人々に行動を促すべきではありませんか。

関西でも国のエネルギー政策を作り上げる幅広い討論集会を行ってください。

賛同: I 女性会議大阪、アンナ・プロダクツ、NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会、科学技術問題研究会、春日直樹、環境フォーラム市民の会(豊中)、関西よつ葉連絡会、気候ネットワーク、北川 諭、木村英子、原子力資料情報室、原発ゼロ上牧行動、原発の危険性を考える宝塚の会、原発はごめんだヒロシマ市民の会、国際女性年連帯委員会、災害避難者の人権ネットワーク、さかいユニオン、佐野米子、さよなら原発なら県ネット、ストップ・ザ・もんじゅ、戦争！あかん 尼崎女たちの会、高橋武三、高橋もと子、脱原発高槻アクション、ちよぼちよぼ市民連合、中沢浩二、奈良脱原発ネットワーク、日本消費者連盟反原発部会、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、反戦タイガース兵庫、ヒバク反対キャンペーン、ふえみん婦人民主クラブ、待ちなはれ！京都にも米軍基地はいりまへんの会、松下昌子(元なんぞな原発学習会)、松田幹雄、美佐田和之